

# 活動レポート 「伝えよう、日本の心プロジェクト」

## 「小さな親切」実行章

### 徳島県 祖谷溪

三好市に位置する祖谷溪は、日本三大秘境\*のひとつといわれ、深いV字谷の続く自然豊かな渓谷です。そこにかけられた吊り橋「かずら橋」は、シラクチカズラという植物で作られたもので、歩くとギンギンゆらゆら揺れる上、足場となる木の間隔が広く、足元から谷底を見下ろすスリルが味わる大人気スポット。



暮れも押し迫った12月30日、早朝6時過ぎ。凍てつく寒さの中、香港から観光に来た王さんら4人は、レンタカーで祖谷溪へ向かいましたが、アイスバーンによる路面凍結のため立ち往生してしまいました。110番通報を受け、井上浩徳巡查長（40歳・三好警察署地域課西祖谷山村駐在所）は現場に急行したものの、困ったことに日本語が通じません。

そこで、井上巡查長はスマートフォンの通訳アプリを使って状況を確認し、レンタカー会社に連絡。レンタカー会社到着までの間、4人の安全確保と寒さから守るため、ミニバト内で待機させるなど細やかに対応しました。

後日、王さんから、「早い対応のおかげで、私たちは助けられました。職務とは言え、井上様に親切にしてください深く御礼を申し上げます」とのお礼のメールが寄せられました。

#### ※日本三大秘境

1. 白川郷（岐阜県大野郡白川村）  
険しい山間地の豪雪地帯に残る合掌造り集落で有名。
2. 祖谷（徳島県三好市）  
平家の落人が秘境の渓谷に隠れ住み、再興を願ったといわれる。
3. 稚葉村（宮崎県東臼杵郡）  
九州山脈の奥地にある下界との接触が少なかった伝説の村。

外国人観光客が増えています。観光地で受けた親切は、美しい風景とともに日本の思い出として心に残ることでしょう。

海外の方へ親切を行った「小さな親切」実行者には、特別バッジを贈呈しています。



### 岐阜県 ぎふ長良川の鶺鴒

岐阜市の長良川で、毎年5月11日から10月15日まで行われる鶺鴒には、毎年10万人をこえる観光客が観覧に訪れます。船首にかがり火をつけた鶺鴒船に乗った鶺鴒匠が、十数羽の鶺鴒の手縄をさばき、操り、次々と鮎などの魚を捕る鶺鴒は、1300年の歴史を今に伝えています。

外国人観光客に鶺鴒の意味や歴史を知ってもらおうと、岐阜県立岐阜高等学校ESS部（38名）は、英語通訳ボランティアを3年前から続けています。ボランティアは、5月の鶺鴒開始から8月頃まで、週2、3回。鶺鴒匠が鶺鴒を説明するのに合わせ、そろいのTシャツを着た部員が、欧米やアジアからの観光客に身振り手振りを交え通訳したり、乗船方法などを案内しています。

鶺鴒やかがり火が描かれたおそろいのTシャツは、部員のボランティアのユニホーム。活動をPRするポスターや横断幕、説明を補助するイラストなども、みんなで試行錯誤を重ねて考案しました。

さらに、長良川温泉旅館協同組合の協力を得て、ホテルの接客のプロから「おもてなしの極意」を学ぶなど、ただ説明するだけでなく、日本の伝統や心を伝えようと真剣に取り組んでいます。

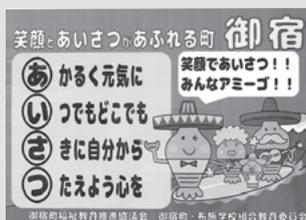


## あいさつで、みんなつながろトモダチ作戦

運動本部作製の「のぼり旗」・「たすき」を使用して、あいさつ運動が展開されています。

### 千葉県 御宿町

あいさつ運動は小中学校で取り組まれているほか、公共施設や商店などにポスターを掲示し、町ぐるみで取り組んでいます。



### 滝合自治会 [東京都日野市]

隣接する小学校との協働キャンペーンとして実施。

市内放送の「下校時の子ども見守り放送」に合わせて、校門前や自治会住民宅前であいさつを実施しています。

